

第2回武庫川コスメティックサイエンスフォーラム

化粧とジェンダー

プログラム



日時 2022年8月29日（月） 13:00～17:30

場所 武庫川女子大学 薬学部 P5-141教室
オンライン同時配信

主催 武庫川化粧品イノベーションセンター

第2回武庫川コスメティックサイエンスフォーラム

プログラム

ナビゲーター 平尾 哲二（化粧品科学研究室教授）

13:00 開会挨拶

第1部 化粧とジェンダー

13:05

森山 賢治 先生（武庫川女子大学 薬学部 健康生命薬科学科 教授）

Estrogenのbiology ~Minimal requirementとexpertise~

13:45

鈴木 牧人 先生（㈱資生堂 みらい開発研究所 研究員）

皮膚生理指標からみた男女の皮膚特徴の違い

14:25

岩淵 徳郎 先生（東京工科大学 応用生物学部 教授）

男性の薄毛と女性の薄毛

15:05

原 武史 先生（㈱マンダム 基盤研究所 室長）

体臭と汗を解析する：性差と年代間差を中心に

-10分休憩-

第2部 武庫川女子大学の取り組み紹介

15:55

神栄 美穂（経営学科 准教授）

韓国コスメ業界の最新情報

16:20

前園 詩織（化粧品科学研究室 修士1年）

紫外線B波による毛髪タンパク質のカルボニル化に対する γ -ドコサラクトンの抑制効果

16:35

山本 明日香（化粧品科学研究室 修士2年）

気相下における角層プロテアーゼ活性に及ぼす保湿剤の影響

16:50

沼尻 紗奈・吉田 萌生（化粧品科学研究室 修士2年・助手）

蛍光標識 ϵ -poly-L-lysine（PLL）を用いた新たな角層染色法とその応用

17:15 ご案内・閉会挨拶

ご参加いただき、ありがとうございます。
アンケートへのご協力をお願い致します。

<https://forms.gle/qWWrpdN8HMgT8h6Q9>



第1部 化粧とジェンダー

Estrogenのbiology

~Minimal requirementとexpertise~

森山 賢治 先生

武庫川女子大学 薬学部
健康生命薬科学科
教授



女性に特有のホルモンとして非常に有名なホルモンは、エストロゲンだろうと思います。今回は、そのエストロゲンを取り上げて演者の知るところを講演したいと思っています。エストロゲンは、シンデレラホルモンであるとか美のホルモンなどと別称されるように女性の強い味方です。女性は、エストロゲンと共に開花します。ではどの様にしてエストロゲンが生成され、そして更年期となって低下し不都合が生じていくのでしょうか。そしてその作用について、臨床的な観点から遠望したいと思っています。化粧、化粧品、皮膚科学とは、少し距離があるかも知れませんが、「大人の性教育」の入門編として聴講していただければ嬉しく思います。

皮膚生理指標からみた男女の皮膚特徴の違い

鈴木 牧人 先生

(株)資生堂
みらい開発研究所
研究員



近年、社会的なジェンダーレスの動きや、コロナ禍で広まったオンライン会議・授業によって自身の顔を見る機会が増加したことを受けて、男性化粧品のニーズが高まっている。一方で、皮膚測定は女性を中心に行われてきたため、加齢による変化を含めて、男性と女性の肌状態やその特徴の違いは十分には解明されていない。本発表では、前半で皮膚測定に用いられる機器とその測定原理、肌の水分量や皮脂量といった皮膚生理指標の意味合いを簡単に振り返る。そして後半では、成人男女の肌特徴の共通点と相違点について、既存の知見を交えながら、ここ数年間の男女を対象とした皮膚測定を通じて新たに分かってきた知見を紹介する。

男性の薄毛と女性の薄毛

岩淵 徳郎 先生

東京工科大学 応用生物学部
教授



男性、女性を問わずヘアスタイルは人の印象に大きな影響を与え、特に薄毛は実年齢より老けて見えることが知られている。男性の薄毛の特徴は成長期が極端に短縮し、毛が太く長くなれずに抜けてしまうことである。一方、女性の薄毛の特徴は、主に休止期が長くなり毛髪密度が低下することである。男性の薄毛化の原因は主に男性ホルモンであることが知られている。女性の薄毛化の原因については明らかではないが、女性ホルモンの変化が関係していると考えられている。本講では性差による薄毛の特徴をサマライズし、その結果を踏まえて、両性の薄毛に対応する頭髪化粧料（育毛料）の設計の考え方について述べてみたい。

体臭と汗を解析する：性差と年代間差を中心に

原 武史 先生

(株)マンダム 基盤研究所
生理解析研究室
室長



生物にとっての体臭は、天敵からの危機回避や生存競争のための種間のコミュニケーションツールなど重要な役割を担ってきた。汗においても、体温調節や皮膚の乾燥防止、滑り止めなど生活環境に応じて、生物種ごとに様々な機能を有してきた。一方、ヒトにおける体臭や汗は、特に高温多湿な日本の夏季では過剰に発生し、不快感や不安感を与える。その不快感や不安感を取り除くために、様々な防臭や制汗機能を有したニオイケア製品が開発されている。本講演では、体臭や汗の基本的な性質から性差や年代間差、ニオイの感じ方の違いなど、これまでの研究成果を交えながら紹介する。

第2部 武庫川女子大学の取り組み紹介

韓国コスメ業界の最新情報

神栄 美穂

経営学科

准教授



『皆さん、「韓国コスメ」は好きですか？』
この問いに対して、Z世代の女子大生の多くからは「はい！はい！はい！」という返事が返ってきます。また、ここ数年の韓国コスメの勢いは日本だけでなく、海外でも非常に注目を集めています。韓国コスメは、なぜそんなに人気があるのでしょうか。一言で「マーケティングが上手いから」と言うこともできますが、それ以上に韓国化粧品業界のイノベーション・エコシステムは巧妙に機能しています。今年の夏、2年8ヶ月ぶりに訪韓して得る、最新の情報を交えながら、「韓国コスメ業界の最新情報」をお届けしたいと思います。

紫外線B波による毛髪タンパク質のカルボニル化に対する γ -ドコサラクトンの抑制効果

前菌 詩織

化粧品科学研究室 修士1年

Mukogawa
Women's
UniversityCOSMETIC
SCIENCE
Laboratory

毛髪は様々な要因により日常的にダメージを受けています。本研究では、紫外線B波(UVB)によって生じる酸化ダメージのカルボニル化に着目しました。健康黒髪にUVB照射を行ったところ照射量に比例してカルボニル化タンパク質は増加しました。カルボニル化はタンパク質中のアミノ基で起こります。そこで、アミノ基に共有結合する毛髪結合性ヘアケア素材である γ -ドコサラクトンのカルボニル化抑制効果を検討しました。結果、 γ -ドコサラクトンはUVBによる毛髪カルボニル化の増加を抑制する新しいコンセプトの素材である可能性が示されました。本研究は、既に日本薬学会第142年会で発表しています。本日はその内容をご紹介します。

気相下における角層プロテアーゼ活性に及ぼす保湿剤の影響

山本 明日香

化粧品科学研究室 修士2年

Mukogawa
Women's
UniversityCOSMETIC
SCIENCE
Laboratory

角層にはさまざまなプロテアーゼが含まれて恒常性を維持しています。テープストリッピングで採取した角層を用いて、NMF産生の最終段階に関わるアミノペプチダーゼであるBleomycin hydrolase活性に着目して研究を進めてきました。そこで、角層剥離に関わるプロテアーゼであるKLK5、KLK7活性も評価対象に加えて、気相に曝して酵素反応を行いました。活性検出にはそれぞれのプロテアーゼに特異的な蛍光基質を用いました。いずれの酵素活性も低湿度環境では低下し、種々のポリオールなど保湿剤塗布により回復しましたが、その程度はプロテアーゼの種類により異なりました。第47回日本化粧品学会で発表した内容をご紹介します。

蛍光標識 ϵ -poly-L-lysine (PLL) を用いた新たな角層染色法とその応用

沼尻 紗奈 吉田 萌生

化粧品科学研究室 修士2年・助手

Mukogawa
Women's
UniversityCOSMETIC
SCIENCE
Laboratory

ϵ -poly-L-lysine (PLL) は角層や毛髪に吸着するカチオン性高分子です。PLLを蛍光標識し、テープストリッピングで採取した角層を染色したところ、肌状態を反映する新たな評価法となることがわかりました。その染色ターゲットを調べたところ、角層細胞内部のケラチン線維やコーニファイドエンベロープも染色されていることがわかりました。蛍光標識PLLおよび蛍光標識アニオン性デキストランによる比較検討では、角層との相互作用にはイオン結合などの関与が明らかになりました。さらに、両者を組み合わせた二重染色は、角層細胞ごとに多様な染色挙動をとり、新たな角層染色法となる可能性が示唆されました。第47回日本化粧品学会および第88回SCCJ研究討論会で発表した内容をご紹介します。

関連ホームページご案内

武庫川化粧品イノベーションセンター

<https://m-cosmic.mukogawa-u.info/>
弊学の化粧品関連の取り組みを紹介しています。



武庫川女子大学 薬学部

<https://ph.mukogawa-u.ac.jp/index.html>
薬学科（6年制）、健康生命薬科学科（4年制）の紹介です。



化粧品科学研究室 客員教授 ブログ

<https://cosmetic.mukogawa-u.info/>
化粧品科学研究室と客員教授のできごとを紹介しています。



武庫川女子大学 経営学部 経営学科

<https://sba.mukogawa-u.ac.jp/>
経営学科の紹介です。



https://sba.mukogawa-u.ac.jp/marketing/teacher_type/shinei-miho/
神栄美穂准教授のコラムです。

